

市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



▲秋の例大祭 (弥富神社)



新米を頬張る子どもたち

## 新米給食会

9月4日、市内小中学校にて、新米給食会が行われました。今年で11回目の開催となり、弥富産新米(コシヒカリ)をあいち海部農業協同組合から提供を受け、食農教育の一環として児童・生徒たちに「食」への感謝の気持ちを育むことを目的として実施しています。

今年は、白鳥小学校を市長らが訪問し、子どもたちと一緒に給食を食べました。子どもたちからは「いつものお米も美味しいけど、今日のは凄くもちもちで美味しい」と感想を教えてくださいました。



令和元年産あいち米初出荷出発式

## 米初出荷式

8月10日、あいち海部農協鍋田集出荷場にて、令和元年産あいち米初出荷式が行われました。

市では昭和34年9月の伊勢湾台風で大きな被害を受けたことから、台風シーズンになる前に刈り取る「早場米」の生産が盛んに行われ、県下トップで出荷されます。

今年の7月は、日照不足や猛暑など突然の気温変化で品質への影響が心配されましたが、生産者の栽培努力、適切な乾燥調製による品質管理の結果、作柄は平年並みで、品質は良好とのことで、会場ではさっそく試食会が行われ出席者は弥富産新米のおにぎりを食べたり、おにぎり作りを体験しました。

ちょっと一息 “防災”

## 防災クイズに挑戦してみませんか?

**問題** 津波による浸水は何cm以上で人が歩けなくなるとおもいますか。

①

30cm

②

60cm

③

90cm

答えはP13の下をご覧ください。

やとみ

## 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

### 弥富の歴史再発見コース(その2)

広報10月号でご紹介した近鉄弥富駅から北方面に進み、薬師寺に向かいます。

薬師寺の境内にある大楠は樹齢600年以上といわれる古木で、根の周囲は6m以上もあります。昔、この地域の人々はこの楠の木の葉などを葉として用いて病を治したといわれています。また、古来より磯辺の楠として有名だったことから、かつてこの付近が海岸線であったと考えられています。

薬師寺の大楠は、昭和51年に旧弥富町の天然記念物に指定されました。樹の下には古来より鎮守の杜(下の宮)がまつられていましたが、明治時代に弥富神社に合祀されました。

また、境内には漢詩人服部擔風の兄の妻、服部紫英(しえい)の句碑「うたた寝の 六十年や かりの夢」があります。



▲薬師寺の大楠



お祝いを受けた皆さん

## 100歳をお祝い!

8月16日より、数え歳100歳の高齢者宅や施設を市長が訪問するご長寿訪問が行われました。今年は、9名の100歳の方が対象で、市長は、施設や個人宅への訪問を行い、そのうち7名一人ひとりに直接お祝いをしました。

19日には、市内の特別養護老人ホーム「輪中の郷」を訪問し、3名にお祝い状と記念品を手渡しました。市長より「これからも長生きしてください。」とあいさつがありました。

## 女子優勝、準優勝を独占!

8月17日、大治町スポーツセンターにて、第50回海部地区子ども会スポーツ大会「ドッジボール」が開催されました。

弥富市を代表して、市子ども会スポーツ大会を勝ち抜いた男女各2チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。

結果、女子の部で優勝「弥富市Aチーム(白鳥子ども会)」、準優勝「弥富市Bチーム(十四山西部子ども会)」のワンツーフィニッシュでした。女子の部では、5年連続の海部地区大会優勝となりました。



左は弥富市Bチーム、右は弥富市Aチーム

① 海水の中に人が立っているとき20~30cm程度でも水かさが増えれば体が浮き上がり、横方向からの圧力に耐えることが難しくなります。